

死ねばいいのに

七星リツ

君はいつも死にたいと言う

君が死にたいと願うなら死ねばいい

君が生きたいと思うなら生きればいい

私はその思いを邪魔しない

それは自由だから

でも、邪魔したいと思うことがある

だって君に依存しているから

君がいなくなったら

私がここにいる意味も生きる意味もないから

あーあ、希望なんていらぬのに

欲しくなかったのに

どうして君は

私を夢中にさせるのだろう

私は君を愛してしまったのだろう

君は好きな人とは違う

君のことを尊敬しようとは思えないから

私とは違いすぎるから

私の信念に反しているから

君は私のことをどう思っているのだろう

ただの知り合い？ 友達？ 親友？ 何？

私から君への気持ちは愛だ

きつと伝わることはないだろう

君はいつも私ではない誰かを見ている

誰よりも近くにいます私のことは見ていない

こんなにも君を愛しているのに

どうして君は私を愛してくれないのだろう

そうか、君に私は必要ないからか

どうしてそんな簡単なことがわからなかったのだろう

これをもって君への気持ちは改めてみようと思う

愛する君へ

大嫌いだ